

学校教育 目標	主体的に学び、協働的に高め合うこどもの育成
育成を目指す 資質・能力	主体性 協働性

	学力状況について	学習状況について
児童 生徒 の 課題	各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 ・基礎的、基本的な学力の定着の個人差が大きい。 ・必要な情報を取捨選択しながら問題を読み取ることが難しい。 ・設問に至るまでの読解で、内容理解が不十分の児童がいる。 ・学習したことと生活経験と結び付けることができていない。	各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 ・目的や条件に合った内容を記述することが苦手である。 ・発言する児童が固定化している。 ・指示されたことは努力できるが、主体性や積極性が十分ではない。 ・基礎的な繰り返し学習ややり直しに対する取り組み方に個人差がある。
	これまでの学力向上の取組に対する児童生徒の状況(授業及び授業以外の側面から) ・学力、自分の考えを発信する力の個人差が大きい。友だちの発言と比べて考えたり、つなげて発言したりなど学びを深めていくことが難しい。 ・必要な資料を取捨選択したり、目的や条件に応じて考えを記述したりすることが苦手である。 ・自らの課題を意識し、問題解決に向けて粘り強く学び続けようとする力に個人差がある。 ・学びを他の学びへ生かそうとする意識に個人差がある。	
指導 の 状況	1 組織的な授業改善の取組状況 ・「付けたい力」を明確にして、主体性や協働性を育む授業計画(教材研究)を実施 ・視点を意識した「振り返り」の実施と評価 ・板書の構造化を図り、「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」を意識した授業の実践 ・校内研の検証授業を見る視点を3つ設定し、その視点に基づく授業実践と検証の実施、成果と課題の共有 2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況 ・「書く」活動を意識化し、週末等にテーマ作文の取組と指導 ・学習内容の定着を図るための習熟の時間の設定や家庭学習の工夫 ・一人1台端末のアプリを活用した個別学習や、ロイロノートの共有による多様な見方、考え方の育成 ・活用問題や難易度の高い問題の取組と考え方の育成	

学力に関する達成指標

アンケートで「自分の考えをもち、友だちと考えを交流することができた」と回答する児童90%以上

今後の 具体的 な取組	【授業改善】 〈授業改善のテーマ・重点〉 主体的に学び、協働的に高め合うこどもを育む授業づくり	【家庭・地域との協働】
	〈取組内容〉 1) 付けたい力を明確にし、こどもの思考を大切に授業づくりを行う。 2) こどもの意欲を高める課題を設定し、主体的・協働的に解決していく学習活動の工夫をする。 3) 授業終末に、視点(付けたい力)を意識した振り返りを位置付け、適切な評価を行い、学びの充実を図る	〈家庭・地域の取組内容〉 1) 「家庭学習の手引き」をもとに、家庭学習の支援を行う。 2) 家庭内でこどものメディアに対する接し方を支援する。 3) 家庭内でこどもが進んであいさつをするように支援する。
	〈取組指標〉 1) 「付けたい力」を明確にして課題を設定し、こどもの思考を大切に授業づくりに取り組んだ教員 100% 2) 主体性・協働性を育むために、学びの手立てを工夫した教員 100% 3) 授業終末に、視点(付けたい力)を明確した振り返りを位置付けた教員 100%	〈家庭・地域の取組指標〉 1) 「学習環境づくりや学習サポートなどの支援を家庭で行っている」と回答する保護者80%以上。 2) 「家庭でゲームやインターネットなどのルールを決めて使わせている」と回答する保護者80%以上 3) 「家庭内で保護者が進んでこどもとあいさつをしている」と回答する保護者100%
	〈検証指標〉 1) 児童アンケートで、「授業が分かった、できた」と回答する児童 80%以上 2) 児童アンケートで、「自分の考えをもち、友だちと考えを交流することができた」と回答する児童 90%以上 3) 児童アンケートで、「めあてに合った振り返りができた」と回答する児童 80%以上	〈家庭・地域の検証指標〉 同上
	【授業改善以外の学力向上の取組】 ○単元末テストの結果から ・個人差がある。・単元末テスト達成率40%以下の児童の割合…国語1.6%算数2.1% ・問題文を正確に読み取れていない、応用的なものが苦手という傾向にある。 ○大分県学力定着状況調査、全国学力・学習状況調査より 【国語】 ・平均正答率は、すべての項目で全国の平均より上回っている(6年生) ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」は県の平均値よりも正答率が低い。 ・平均正答率は、ほとんどの項目で全国の平均より上回っている(5年生) ・「調べたことをもとに文章を書く」力に課題がある。 【算数】 ・平均正答率は、ほとんどの項目で全国の平均よりやや下回っているがほぼ同等(6年生)・文章や資料をしっかりと読み取れていない傾向が見られる。 ・平均正答率は全国の平均とおおよそ同じくらいかやや上回っている(5年生) ・小数のかけ算やわり算の計算を正確に解けていない児童が多かった。	